

今年度の取組について

令和3年3月22日
令和2年度大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会(第2回)
環境省関東地方環境事務所資源循環課

協議会

■第1回 2020年8月5日(水)

○webによる開催 構成員30名参加

- 議事 (1)大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会設置要綱(名簿変更)について
(2)環境省における災害廃棄物対策に係る取組について
(3)今年度の協議会活動予定(案)について
(4)今年度のモデル事業予定について
(5)大規模災害発生時における関東ブロック災害廃棄物対策行動計画の改訂について

■第2回 2021年3月22日(月):本日

行動計画及びマニュアル改訂の検討

■資料3-1および資料3-2にて説明

都県担当者による意見交換会

■ 第1回 2020年7月17日(金) webによる開催 都県担当者10名、学識者2名参加

- 議事
- (1) 令和2年7月豪雨の状況について
 - (2) 今年度の協議会について
 - (3) 【意見交換①】昨年度の取組結果と振り返り、今年度の取組、課題の共有について
 - (4) 【意見交換②】環境省通知5/29「災害廃棄物の処理等への事前の備えの確認について」と県の対応の共有について

■ 第2回 2021年2月2日(火) webによる開催 都県担当者10名、学識者2名参加

- 議事
- (1) 令和元年房総半島台風及び令和元年東日本台風における都県の初動
 - (2) 【意見交換】都県における発災時の初動対応の立ち上げについて
 - (3) 【情報提要】「災害廃棄物の撤去等に係る連携対応マニュアル」への対応について



市区町村担当者による意見交換会

■ 2020年10月27日（火） 集合およびwebの併用による開催 市町村担当者19名、学識者2名参加
（会場参加 市町村10名、web参加9名）

○議事

（1）【情報提供】令和2年7月豪雨球磨村における災害廃棄物処理対応について

（2）【講演】災害廃棄物対応力のマネジメント

国立研究開発法人国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター 主任研究員 多島良

（3）【話題提供】八王子市災害廃棄物処理の取組と課題について

（4）【意見交換】各自治体の災害廃棄物対応における現在の最優先課題について



災害廃棄物対策啓発交流会

■千葉県、栃木県、新潟県、群馬県、茨城県の5県において実施

自治体	千葉県	栃木県	新潟県	群馬県	茨城県
開催日	12月7日	12月9日	1月18日	2月5日	2月18日
開催方法	集合開催	集合開催	web開催	web開催	web開催
参加数	自治体 28名	自治体 13名	自治体 27名	自治体 25名	自治体 31名 産資協 2名
座学	初動対応の動き	災害廃棄物処理 計画について	災害廃棄物処理 初動対応の動き について	災害廃棄物処理 計画策定のポイ ントについて	災害廃棄物処理 初動対応の動き について
情報提供	令和2年7月豪 雨球磨村レポー ト		令和2年7月豪 雨球磨村レポー ト	令和2年7月豪 雨球磨村レポー ト	令和2年7月豪 雨球磨村レポー ト
県からの 報告	令和元年房総半 島台風等一連の 災害における千 葉県内の災害廃 棄物処理(中間 報告)				
ワーク	【ワークショップ】 初動期に行うべ き行動について	【ワークショップ】 計画策定プロセ スの経験(仮置 場)	【個人ワーク】仮 置場の選定と開 設	【個人ワーク】仮 置場の選定と開 設	【個人ワーク】仮 置場の選定と開 設

人材育成研修(現場研修)

■ 令和元年東日本台風災害廃棄物処理現場(福島県)オンライン研修 2020年8月27日 参加者22名

○web開催(コロナ禍により現地に入れず、被災自治体の方に講演をいただくこととなった)

○プログラム

(1) 講演「令和元年東日本台風災害廃棄物処理の取組について」

福島県生活環境部 一般廃棄物課 主査 根本純一氏

(2) 講演「災害廃棄物処理とクリーンセンター復旧の取組」

郡山市生活環境部 3R推進課 課長 佐藤謙次郎氏

(3) 講演「災害廃棄物処理の初動対応と協力・連携の取組」

いわき市生活環境部 ごみ減量推進課 課長 中根正博氏

(4) 講演「令和2年7月豪雨被災地及び支援の状況」

環境省関東地方環境事務所 資源循環課 課長 岡野祥平氏 災害廃棄物対策専門員 宇田 仁氏



現地研修資料より

人材育成研修(フォローアップ研修)

■参加者フォローアップ研修 2020年10月2日 参加者18名

○web開催(本来は現地研修のフォローアップのための研修として企画)

○プログラム

(1)講演「現場研修の振り返り」管理されていない仮置場対応について

関東地方環境事務所 資源循環課 課長補佐 森繁之氏

(2)講演「令和元年度支援チームの活動実績」

同課 巨大災害廃棄物対策専門官 杉山善昭氏

(3)講演「災害等廃棄物処理事業費補助金スキームと資金調達の実務」

常総市 市長公室市民と共に考える課 課長補佐 渡邊高之氏

(4)情報提供: 広報ツール、国環研災害廃棄物情報プラットフォームなど

公益財団法人廃棄物・3R研究財団 中山育美氏



現地研修資料より



記録誌(その1)

令和元年房総半島台風等における災害廃棄物等処理の記録誌について

■ 目的

千葉県内の多くの地点で観測史上最大の風速を記録する暴風と猛烈な雨による被害、大規模な停電があった。それに伴う災害廃棄物の処理において自治体が行った経験と教訓を記録誌として取りまとめ、今後の災害廃棄物処理に活かす。

■ 情報収集の方法

発生量約10万トン 仮置場51か所(設置市町村30) 、仮置場平均4000m ²	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	記録誌 作成等	ヒア リング		市町村等 アンケート	まとめ		

■ 記録誌案事前の注意喚起

◇54市町村・15一部事務組合アンケート調査 ◎市町村ヒアリング調査

第1章 令和元年房総半島台風の被害

建物被害棟数、避難所・者数、一廃施設の被害
災害廃棄物市町村別種別発生量、特徴

第2章 初動期の対応

- ◎体制・初動対応
- ◎収集運搬(路上堆積の発生・撤去)
- ◇一次仮置場の設置状況(面積・地図・レイアウト等)
- ◇一般廃棄物処理の業務継続(生活ごみ・し尿)
- ◎一廃施設における停電の影響・復旧
- ◇住民等への広報

第3章 初動対応期(～1ヶ月)(主に南部)

- ◇一次仮置場の管理・運営(分別・安全生活環境保全)
- ◇支援・受援(県・他自治体・関東B・事業者・ボランティア)
- ◇災害廃棄物処理処分

第4章 本格的な処理期(3ヶ月～)(主に南部)

- ◇災害廃棄物処理処分(処理フロー等)
- ◇損壊家屋の公費撤去体制の構築
- ◇災害等廃棄物処理事業費補助金申請の対応

第5章 まとめと課題

参考資料

約130頁

- 計画策定の効果が見られた。経験を計画見直し事項・マニュアル策定へ反映しているところ。
- 県の取組(事前の注意喚起、現場確認、広域処理の調整)が有効だった。●仮置場は災害廃棄物処理の要。
- 関東ブロック協議会支援チーム・東京都による成果。課題はマニュアル等の改訂へつながった。
- 停電への取組・備えについて記録誌を通じて情報共有。
- 住民への配慮、業者との関係づくり、チーム力 ●排出者責任の全う・国費を使うことへの説明責任